

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道375号 作木・大和道路	事業主体	中国地方整備局・広島県・島根県
所在地	広島県双三郡作木村大津～島根県邑智郡大和村上野		
事業概要	<p>一般国道375号は、広島県呉市を起点とし、東広島市、三次市を経由し島根県大田市に至る延長約170kmの主要幹線道路である。</p> <p>作木・大和道路は、広島県と島根県の県境部における交通隘路区間の解消を目的とした延長6.1kmの道路である。</p>		
事業着手	平成6年度		
総事業費	約160億円 (うち直轄区間C=130)	既投資額	平成14年度末まで 約90億円(進捗率57%)
再評価の必要性に関する視点	<p>ア)事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <p>当該路線は、沿道の町村の生命線であるが、現道状況は劣悪であるとともに、降雨時には、通行止めになる等、周辺住民の生活が脅かされている状況である。</p>		
	イ)費用便益分析		
	道路事業に要する費用		道路整備による効果
	<p>総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年</p> <p>(総事業費 約160億円) 現在価値換算事業費 173億円</p> <p>事業費 173億円</p> <p>維持管理費 13億円</p> <p>総費用 + = 186億円(C)</p>		<p>走行時間 短縮便益 272億円</p> <p>走行経費 減少便益 15億円</p> <p>交通事故 減少便益 2億円</p> <p>総便益 + + = 289億円(B)</p>
	費用対効果分析の結果		B / C = 1.6
<p>「費用便益分析マニュアル(案)による」 (H10.6.26 付け建設省道経発第14号通達)</p>			

事業名	一般国道375号 <small>さくぎだいわ</small> 作木・大和道路	事業主体	中国地方整備局・広島県・島根県												
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>ウ)事業の進捗状況</p> <p>1. 主な経緯</p> <table border="0"> <tr> <td>平成6年度</td> <td>事業着手</td> </tr> <tr> <td>平成9年度</td> <td>用地買収着手</td> </tr> <tr> <td>平成10年度</td> <td>工事着手</td> </tr> </table> <p>2. 事業の進捗状況</p> <p>工事の進捗状況</p> <p>平成10年度に工事着手し、平成13年度より^{りょうこく}両国トンネルの工事を促進しているところであり、平成14年度末までの進捗率は約55%である。</p> <p>用地補償の状況</p> <p>平成10年度までに本線部の用地取得を完了し、平成14年度末迄に約83%の用地取得を完了している。</p> <p>関連事業の状況(平成14年度末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・^{ひろしま}広島県施工区間 <table border="0"> <tr> <td>事業着手</td> <td>平成8年度</td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>工事進捗</td> <td>46%</td> </tr> </table> ・^{しまね}島根県施工区間 <p>供用中</p> 		平成6年度	事業着手	平成9年度	用地買収着手	平成10年度	工事着手	事業着手	平成8年度	用地取得	100%	工事進捗	46%
平成6年度	事業着手														
平成9年度	用地買収着手														
平成10年度	工事着手														
事業着手	平成8年度														
用地取得	100%														
工事進捗	46%														

事業名		一般国道375号 <small>さくぎだいわ</small> 作木・大和道路	事業主体	中国地方整備局・広島県・島根県
再評価の視点	事業進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の進捗見込み 現在残る用地取得を促進しているところであり、平成15年度末には、用地取得が完了する見込みである。 ・工事の進捗見込み <small>りょうご</small> 現在、県境部の両国トンネルを工事促進しているところであり、平成16年度には貫通する見込みである。 		
	コスト縮減や代替案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・偏平なトンネル断面を採用し、内空断面を縮小することにより、コスト縮減を図った。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。 ・また、<small>りょうご</small> の視点による再評価より、代替案を検討する必要はないと考えている。 		
今後の対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続 平成18年度全線供用を目指し事業を推進する。 		

一般国道375号作木・大和道路の事業評価

平成15年9月

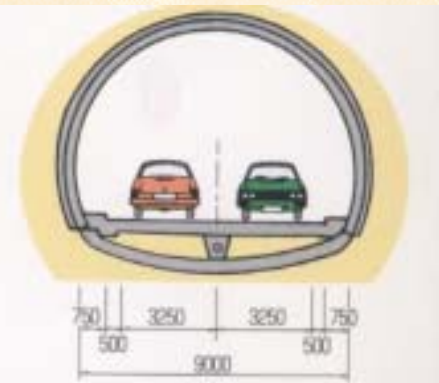
国土交通省 中国地方整備局

位置図

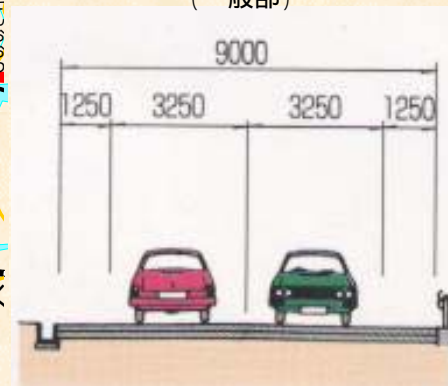


事業概要

標準断面
(両国トンネル)



(一般部)



全長	6.1km	
区間	起点	ひろしまけんふたみぐんさくぎそんおおつ 広島県双三郡作木村大津
	終点	しまねけんあおちぐんだいわむらかみの 島根県邑智郡大和村上野
道路区分	第3種2級	
設計速度	60km/h	
標準幅員	9.0m	

現道の状況

- 当該区間では、線形が悪く(Rmin=30m)、約6割の区間で幅員が狭小(Wmin=2.0m)であり、乗用車でさえ離合ができない状況。



現道の状況

- 備北地方生活圏と大田地方生活圏を結ぶ唯一の幹線道路であるが、災害・冠水等により、度重なる通行止めが発生している。
- 過去10年間(H5～H14)で災害による通行止めが217日、通行規制が883日あり周辺住民への生活にも多大な影響を及ぼしている。

過去10年間における災害による
通行規制・車両通行止め日数

	通行規制	車両通行止め
平成5年度	1日	1日
平成6年度	263日	151日
平成7年度	23日	なし
平成8年度	236日	なし
平成9年度	92日	11日
平成10年度	75日	1日
平成11年度	70日	21日
平成12年度	なし	なし
平成13年度	123日	32日
平成14年度	なし	なし
合計	883日	217日



事業効果

- ・ 作木・大和道路の整備により、大幅な時間短縮効果が得られる。
- ・ 災害時における通行止め区間の回避が可能となり、幹線道路機能の確保並びに生活環境の大幅な改善が図られる。

【当該区間を6分での通行が可能】

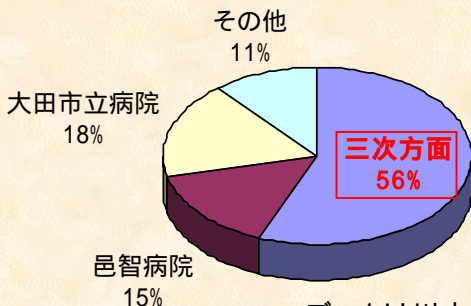


事業効果

- 川本消防署大和出張所は、救急患者搬送先の半数以上が、三次方面となっている。
- 作木・大和道路の整備により、川本消防署大和出張所から三次中央病院までの病院収用所要時間は約8分短縮される。

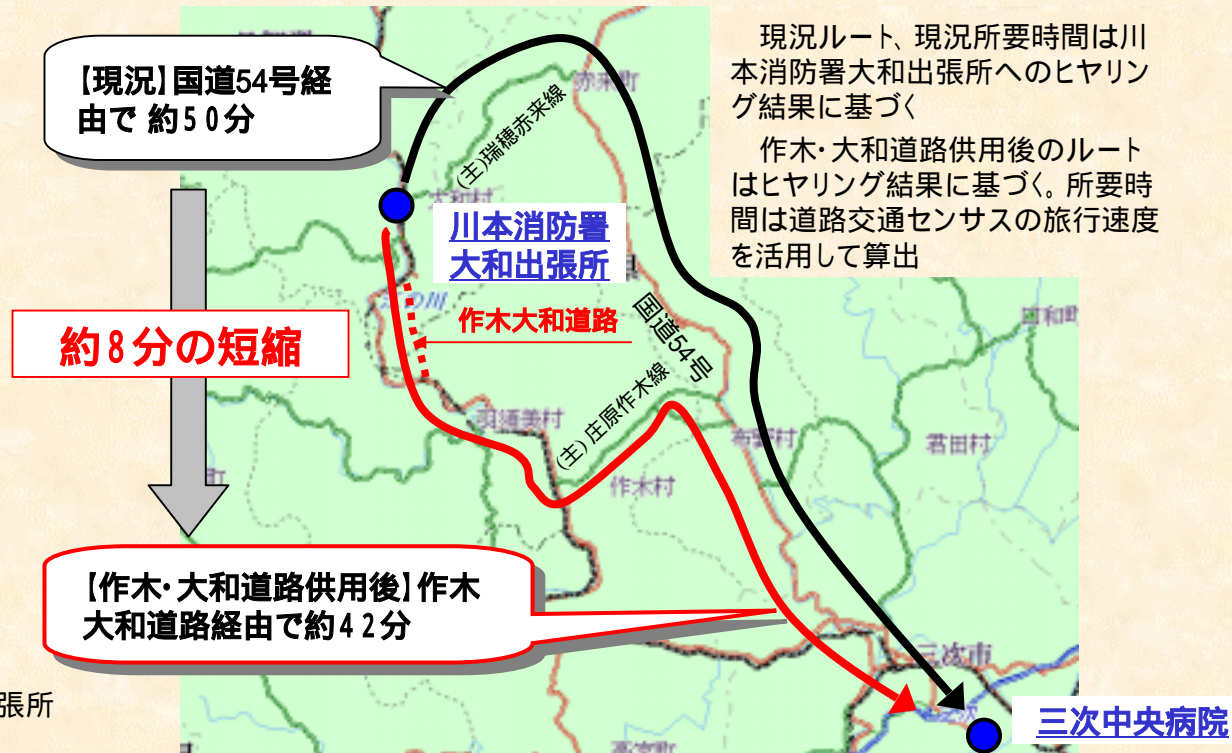


救急患者搬送状況



データは川本消防署大和出張所へのヒヤリング結果に基づく

大和出張所からの救急患者搬送先(H13)



川本消防署大和出張所から三次中央病院までの収用所要時間